

# とうきょうすくわくプログラム

桜の詩保育園

2025年9月～12月実施

桜の詩保育園では「とうきょうすくわくプログラム」に参加しております。今年度行った活動内容をご紹介します。

## さくら組(5歳児クラス)でとうきょうすくわくプログラムを行いました!

### 「とうきょうすくわくプログラム」ってなに?

幼稚園や保育所において、子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子どもたちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。



今年度は「SDGsと音」をテーマに、5歳児クラスで活動を行いました。

はじめに、SDGsについてお話を聞いたりクイズを通して学び、リサイクル素材からできている楽器スティールパンについて知る活動を行いました。身近なものが楽器になることを知り、環境や音への関心を高めるきっかけとなりました。2回目の活動ではプロの演奏者によるスティールパンの演奏会を鑑賞しました。音の重なりや響きの美しさを間近で感じ、子どもたちは音楽の楽しさを全身で味わう姿が見られました。

その後「自分たちでも楽器を作りたい」という意見が子どもたちから上がり、活動が発展していきました。廃材を使って楽器作りに取り組み、試行錯誤しながら音を確認する姿が見られました。完成した楽器はお遊戯会の演奏に使用し、友達と音を合わせて演奏する楽しさや、表現する喜び、達成感を味わうことが出来ました。

### スティールパンってどんな楽器?



2つのスティールパンで  
なんと31音も出せるよ!

スティールパンは、トリニダード・トバゴで生まれた打楽器で、ドラム缶を加工して音階を作り出した楽器です。その音色は透明感があり南国の風を感じさせるような独特の響きを持っています。

### SDGsごみを減らす3つの魔法!



## 活動内容

### 第1回目 2025年9月11日



(ハンマーでたたいたところの音が違う!!  
音が変わった!  
スティールパンと同じ音が出る)

クイズや映像を通してSDGsドラム缶を加工して作った「スティールパン」について学んだり、シーチキン缶をトンカチで叩いて楽器を作り、曲に合わせて演奏を行いました。

### 第2回目 2025年9月25日



前回の振り返りを行った後にみんなでポティーパーカッションを行ったり、一音ずつ異なるシーチキン缶を使ってドレミのうたの合奏を行いました。また身近なものをなんでも楽器に変えてしまうお兄さんのパフォーマンスに子どもたちは大盛り上がり! どんなものでも楽器になるということを知り自分たちでも作ってみたいという声が上がりました。最後にはスティールパンの演奏をみんなで聴きました。素敵な音色にうっとりな子どもたちでした!

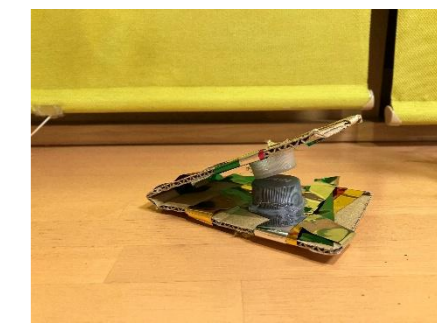
### 《実際に子どもたちが考えて作った楽器》



空き缶とストローで作った笛



ペットボトルで作ったマラカス



段ボールとペットボトルキャップで作ったカスタネット



牛乳パックと段ボールで作ったタンバリン



ペットボトルを切って作ったペットフォン



空き容器とペットボトルの蓋で作った太鼓